

2012年5月15日

## 漏れ試験非破壊試験技術者の認証制度について

一般社団法人 日本非破壊検査協会  
認証事業本部

この度、認証事業本部では、新たな認証制度として漏れ試験(略称 LT)による非破壊試験技術者認証制度を2012年秋期より開始いたします。

認証事業本部では、2009年10月に漏れ試験認証準備WGを設置し、認証制度の実施に向けて準備を行ってきました。2011年4月には、NDIS 0605「非破壊試験－漏れ試験技術者の資格及び認証」を制定しております。この規格に基づきLT認証制度を実施いたします。

認証事業本部では、既にJIS Z 2305:2001「非破壊試験－技術者の資格及び認証」に基づく認証制度を2003年より実施しておりますが、現行のJIS Z 2305ではLTが適用範囲となっていないことから、NDIS 0605（日本非破壊検査協会規格）により認証を実施いたします。

### 1. 試験実施予定

#### ・レベル1

第1回 筆記試験 2012年9月、実技試験 2012年10月（東京地区）

第2回 筆記試験 2013年3月、実技試験 2013年4月（東京地区）

#### ・レベル2

第1回 筆記試験 2013年3月、実技試験 2013年4月（東京地区）

#### ・レベル3

レベル1及び2の技術者認証の基盤が構築された後、速やかに実施予定

\*大阪地区につきましては環境が整い次第実施の予定です。

### 2. 認証制度実施趣旨

漏れ試験による非破壊試験技術は、自動車、空調、家電、航空、原子力、高圧ガス設備、構造物等の密閉を必要とする様々な分野で実用されています。ISOにおける漏れ試験の資格認証化の背景の一つは、製品の製造が品質管理システム（ISO 9001等）に組み込まれ、品質維持向上のため諸々の数値化が要求され、管理面から作業技術者の資格付けや、教育が要求されるようになってきたことです。また、製造のアウトソーシングや部品調達のグローバル化が購入製品の品質維持及び保証のため、資格者による検査や管理が要求されるようになり、将来的に資格の国際相互承認へ繋がっていくものと考えられます。

漏れ試験技術は高度工業分野を維持・向上させるために不可欠であり、技術者の資格付けや育成の必要性も叫ばれているのが現状です。しかしながら、日本においては漏れ試験技術者に対する資格認証制度がこれまで存在しませんでした。そこで非破壊試験技術者認証に関する実績豊富な第三者機関である日本非破壊検査協会認証事業本部が認証制度を開始いたします。

### 3. 適用規格

- ・NDIS 0605:2011「非破壊試験－漏れ試験技術者の資格及び認証」

### 4. 試験を実施する工業分野

- ・マルチセクター

### 5. 試験技法

- ・漏れ試験（略称 LT）：Leak Testing

### 6. 試験制度説明会の予定

試験制度の詳細に関する説明会を、東京（2012年6月7日）及び大阪（2012年6月8日）に開催いたします。説明会の詳細については、追って協会HPに掲載いたします。

以上